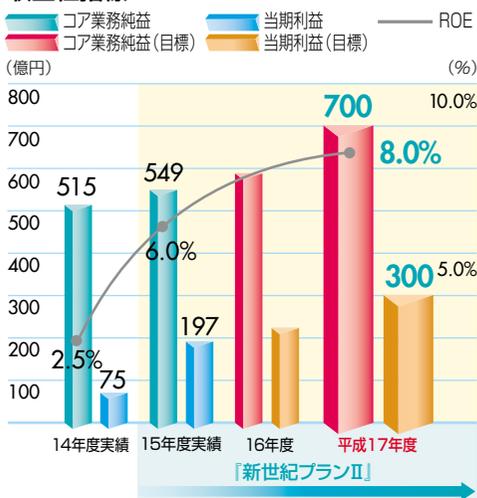


福岡銀行は中期経営計画「新世紀プランⅡ」の各種施策を確実に実行し、収益力の拡大と資産内容の健全性を確保することで高い企業価値の実現を目指してまいります。

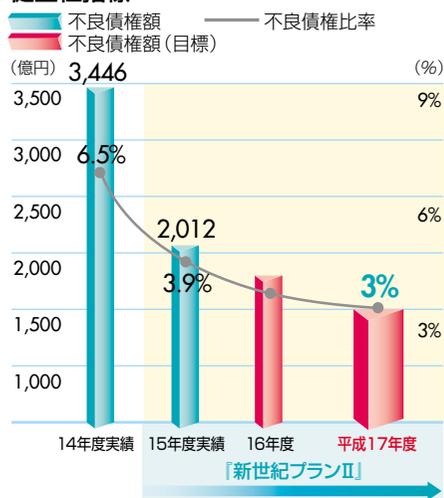
■目標とする経営指標

新世紀プランⅡの概要	
目指す銀行像	ゆるぎなく発展する先進銀行 ◎高い収益力の達成 ◎資産内容の健全性確保 ◎高い企業価値の実現 ◎営業・経営管理における先進手法の追求
基本方針	拡大均衡の持続 平成17年度(最終年度)目標 コア業務純益…………… 700億円 当期利益…………… 300億円 ROE(株主資本利益率)…………… 8%
目標とする経営指標	収益性指標 コア業務純益…………… 700億円 当期利益…………… 300億円 ROE(株主資本利益率)…………… 8%
	健全性指標 不良債権比率…………… 3%

収益性指標



健全性指標



■施策体系

『新世紀プランⅡ』では、「新世紀プラン」で構築した様々な経営インフラを相互・有機的に結び付け徹底活用することで、多様化、高度化するお客さまの金融ニーズに的確にお応えし、より質の高い金融サービスを提供してまいります。



●営業インフラ (顧客セグメント別営業戦略の進化)

- 法人営業** 本店・北九州・久留米各営業部の「コーポレート営業部」を核に、本部との協業による付加価値提供営業・問題解決型営業を展開してまいります。
- 個人営業** ローンセンター・リブラなど各チャネルを専門化させ、連携させながら付加価値の高い商品・サービスを提供し、お客さまの満足度を高めてまいります。

●リスク管理インフラ (リスクマネジメント戦略～不良債権処理の加速化と事業再生の同時実現)

事業再生・健全化支援の専担部署である事業金融部を中心に、サービサー「ふくおか債権回収株式会社」や地域再生ファンドとも協力のうえ、事業再生と不良債権処理加速化の同時実現を進めてまいります。

●オペレーションインフラ (IT・事務戦略)

「広島銀行との共同化システム」を最大限に活用した各種システム開発により、システム優位性の維持・拡大に取り組みます。また、IT基盤を徹底活用して、情報の戦略的活用や事業の効率化に繋げ、さらに競争力を強化してまいります。

●人材インフラ (プロフェッショナル人材の育成)

環境変化に沿った人事制度改革を行うとともに、良質な金融サービスをお客さまにご提供していくため、プロフェッショナルな人材の育成と戦略的な人員配置に努めてまいります。

コンプライアンス (法令等遵守) 経営の実践

当行は、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付けております。お客さまから多くの信頼・支持を得るため、今後ともコンプライアンスの充実に努めてまいります。